

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 2号)

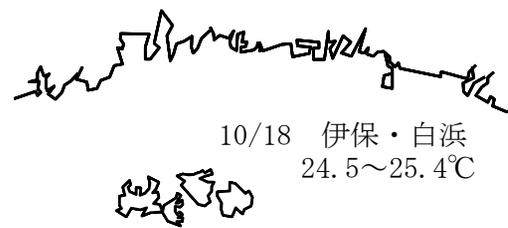
2024年10月21日発行
 兵庫のみ研究所

沖合漁場では、大型珪藻コシノディスカスの発生量は減少しています。西播地先では、コシノディスカスの発生量は増加しており、小型珪藻もわずかに確認されています。窒素は、西播地先で概ね1~2 $\mu\text{g at/L}$ 台、沖合漁場で概ね2 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻)

各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、赤穂・網干漁場で900細胞前後（前回値：50~300細胞）、伊保・白浜漁場で300~400細胞、沖合漁場で100~200細胞（前回値：700~1500細胞）であった。赤穂・網干漁場では、小型珪藻のリゾソレニアやプレウロシグマ等が、わずかに確認された。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.0	1.5	3.8	1.4
	リン	0.72	0.61	0.54	0.82
家島・坊勢	窒素	0.8	2.2	4.1	1.9
	リン	0.42	0.63	0.63	0.75

(10/11) (10/18)

栄養塩 (窒素) 図

2024年10月21日調査

